会 長

挨

拶

た、熊本地震では多 らお話がございまし

大規模災害復興法を適

開いたしております。

た。国土交通省といたしま

今、色々と申し上げまし

しても、しっかりと必要な

# 全国道路利用者 会議会長



ら敬意と感謝を申し

会議の定時総会にあたりま こうして一同に会していた にきまして、ご参集を賜り して一言ご挨拶を申し上げ したことに心からお礼を 本日は会員の皆様には、 第8回の全国道路利用者 この席をお借りいたしまし 力を賜っておりますことを 当会議におきます暖かいご 出来ております。先生方に 指導とご支援と、またご尽 おかれましては日頃から、 にご出席をいただくことが 方も大勢、当会の定時総会 参の国会議員の先生 副大臣をはじめ、衆 多端の中に国土交通

衷心よりお礼と感謝を申し 上げる次第でございます。 て、会員の皆様を代表し、 に、まずもって心か 上げたいと存じま また本日は大変ご たしましても、熊本地震の らためて私共は再認識をす す。国民生活の安全・安心 対する国民の関心が高まる と同時に、道は命と申しま るわけであります。 に不可欠だということをあ ます、被災地の皆さんに衷 生活を余儀なくされており ますと同時に、今なお被災 めて道路、道というものに たいと存じます。阪神淡路 な災害が生じますとあらた ありました。この様な大き 大震災もそうでありまし して、お悔やみを申し上げ 心よりお見舞いを申し上げ ご案内の通り当会議とい 東日本大震災もそうで

くなりになった皆さんに改 めて当会議を代表いたしま 害が生じております。お亡 におきまして大変大きな災 4月14日、16日に熊本 らこれからの道路整備事業 強いことだと思います。 を進めていかなければなら のか。道路を利用される方 中で、私ども会員一人一人 ました。県道・村道の国と 路におきましては、平成25 ころでございます。特に道 路、そして今、道路事業が も様々な災害を教訓といた 復興は、これからでありま いただいております。大変 規模災害復興法に基づきま 年に法制化されました、大 野でご要請を申し上げたと 々とそのニーズに応えなが が何を目指していくべきな 大きく変わろうとしている しまして、災害に強い す。当会議といたしまして ありがたいことですし、心 しての直轄代行をお認めを して、初めての適用となり しかし、本格的な復旧・ 災者の皆さんは今なお余震 と同時に、今日はその意に んと一緒に念願をいたしま らないと思います。私ども の期待に応えていかねばな とそして大きな結束力で当 とを心からお願いを申し上 お一人お一人のご尽力を心 る生活が送れることを皆さ 被災地の皆様方に安心でき す。私どもが一日も早く、 の恐怖にさらされておりま げ、熊本地震によります被 むかう定時総会でありすこ からご期待を申し上げます のこれからの結束した会員 会議に寄せられている国民 な変化に適応すべく、知恵 費用を必要とする時代が来 おります。老朽化いたしま して、会長としてのご挨拶 ております。私どもは様々 しょう。維持管理に膨大な でしょうし、補修も必要で )た道路施設、 点検も必要

さて、皆さんご案内の通 必要な関係省庁に様々な分 をあげて、やれるものは何 目指して頑張ってまりたい 大きな変化の時を迎えて ら、安定的に持続的に確保

力を賜っています皆さん 事業に特段のご尽力とご協

来賓

挨拶

国土交通副大臣

系より我が国の道路の整備

し上げますと同時に、平

興に邁進をさせていただ 災自治体に派遣をさせてた からすぐにTEC - FOR ております。また今回初め CE等、職員の皆様方を被 の中で取り組まさせていた でもやる、先手先手で復旧 だいております。 国土交通 育といたしましても、 発災 にきながら<br />
一緒に<br />
復旧・<br />
復 復興に進めるという覚悟 興の加速、また、国民の皆 予算の中ではございます 済の再生、この4分野に重 様の安全・安心の確保、豊 の実現、及びまさに日本経 かで利便性の高い地域社会 点を置きまして、事業を展 が、東日本大震災からの復 さて、今年度は限られた いう風に思っておりま

支援・ご協力を心からお願

いを申し上げるところでご

させていただきたいと思っ

ておりますので、この安定

ご要望等に期待通りに進め

的・持続的な予算確保につ

きましては、引き続きのご

していく、そのことでしっ

かりと皆様方の安心または

りますことに、改め

・ご協力を賜ってお

て御礼を申し上げた

いと存じます。

先ほど古賀会長か

お見舞いを申し上げるとこ なられた皆様方のご冥福と っしゃる皆様方もおいでに を失われ、まだ1名の方が なります。あらためて亡く ております被災されていら 厳しい中を必死に暮らされ 行方不明という現実がござ 被災を受けられた皆様方に います。そしてまた、大変 現在、政府としては総力 くの皆様方、尊い命 ります。そういう意味では 組みをさせていただいてお ていただくという形で取り ながら、共に早期の復興を らためてのご支援をお願い 路、これはご要請があれ 本日お集まりの皆様方のあ 是非、被災地の皆様方に、 県や市町村の管理をする道 用させていただきました。 復旧・復興に務めさせ しっかりと国が代行 方のご協力をいただきなが 果というものに重点を置き りましては、道路の機能を ただいているところでもご の質の向上などストック効 や安全・安心を含めた生活 使う、また、生産性の向上 まして、取り組まさせてい 最大限発揮するために賢く 応した施策を進めるにあた また、これらの課題に対 必要な道路予算を、皆様

らお願いを申し上げさせて

すので、是非、皆様方の更

の思いで頑張ってまいりま 道路は整備をしていく、そ

なるご支援・ご協力を心か

上げ挨拶とさせていただき

けれども、その為にもネッ

齢化に苦しんでいる地域を

より活性化するための手段

する。そして人口減少と高 トワークをしっかりと整備 ているところでございます

活躍・ご健勝をご祈念申し いただきながら、益々のご

第559号

せていただきます

め、皆様には国土交通、特

日頃から古賀会長をはじ

に道路行政に色々とご支援

ますが、所要がございまし

て私が代わってご挨拶をさ

おめでとうございます。本 会議第80回定時総会、誠に

本日は、全国道路利用者

米であれば大臣が参りまし

こ、 ご挨拶を申し上げなけ

ばならないと思っており

## 来 賓 挨 拶

化し、あるいは維持管理 思います。

まられ、盛大に開かれます 震によりお亡くなりになら ことをまずお慶びを申し上 まずは、この度の熊本地 J.

に、我々も立法府としても 々が崩れ落ちておりまし し、数え切れないほどの山 来、古賀会長、土井副大臣 思いますけれども、先ほどた。相当時間がかかるかと とで政府をあげて力を入れ うことが再認識されたので 思います。今回の地震でも 精一杯、早期の復旧・復興 はないかと思います。 に尽力をしてまいりたいと のお話にもございますよう 十キロに渡って土地が陥没 現在、地方創生というこ たいと思います。 て

衆議院国土交通 として、道路の必要 公一衆議院国土交通委員長 土井亨国土交通副大臣、 【国会議員・本人】

様が、全国よりたくさん集 議第8回の総会が関係の皆 全国道路利用者会 必要な予算を持続的に確保 費用も相当かかっている、 そういう中で、しっかりと することが、何よりも求め である道路そのものが老朽 整備された社会資本

香气

々、熊本に入りました。沢 に我が党の谷垣幹事長共 の意を表しますとともに、 れました方々に心より哀悼 山の家屋が倒壊し、また数 被災された数多くの方々に たいと思います。 心からお見舞いを申し上げ 私も4月3日、5月1日 近畿自動車道の整備も大変 取と兵庫・京都を結ぶ山陰 は、北近畿豊岡自動車、鳥 に叫ばれ、また北の方で ークの整備の必要性が声高

| 簗和生、和田義明

《参議院議員》

大沼みずほ、大野泰正、河

巧、岩井茂樹、衛藤晟

赤池誠章、井上義行、井原

野義博、岸宏一、古賀友一

郎、佐藤信秋、柴田巧、高

来 賓

のお話にもございま とは間違いないかと 性は高まっているこ したように、すでに 方で、古賀会長

られていることかと思いま 大阪湾岸西部、さらにはそ けれども、兵庫県でも南部 の方は阪神間と神戸を結ぶ の西は播磨臨海のネットワ 私は兵庫県でございます 平口洋、藤丸敏、星野剛士、

げたいと思います。

精一杯知恵と工夫をしなが 思います。しっかりと地元 大変強いものがあろうかと 国津々浦々で、今日の資料 ら汗をかくのが我々国会議 の要望を受け止めながら、 強い地元からの要望がござ にもございますけれども、 路整備の着実な推進に向け で、しっかりと今後とも道 員の仕事でございますの います。そういう要望は全 衆議院国土交通委員会と 精一杯頑張ってまいり

野光二郎、中泉松司、馬場

義、金子万寿夫、金子め

木宏壽、武井俊輔、竹下亘、 野中厚、野間健、原田憲治、 宏、西銘恒三郎、根本幸典、 金田勝年、神谷昇、鴨下一 和英、逢坂誠二、大西宏幸、 辰憲、今村雅弘、岩田和親、 川康洋、中村裕之、西村明 渡海紀三朗、冨樫博之、中 德、田中和德、田野瀬太道、 藤章、鈴木克昌、鈴木貴子、 櫻田義孝、佐田玄一郎、 敏文、小林鷹之、坂本哲志、 古賀篤、國場幸之助、小島 郎、北村茂男、北村誠吾、 大見正、小里泰弘、小田原 伊藤忠彦、井野俊郎、井林 武部新、橘慶一郎、田所嘉 瀬戸隆一、薗浦健太郎、高 潔、梶山弘志、金子恭之、 江渡聡徳、大岡敏孝、大隈 左 事、廣瀬輝中日本高速道路 取締役常務執行役員、金崎 営企画部長、高村栄二首都 路保有・債務返済機構理 岡本博阪神高速道路(株) 高速道路(株)執行役員、 技術・建設本部長、小橋慶 山内正彦(独)日本高速道 【高速道路会社等】

と幅広い方々の賛同を得な ございますので、しっかり いたしましても、そういう がら、頑張ってまいりたい 野党の対決も少ない項目で 社会資本の整備は比較的与 れども一言のお祝いのご挨 様方の益々のご健勝とご活 申し上げますとともに、 尽力をされております皆様 いと思います 拶にかえさせていただきた て、簡単ではございますけ 躍をご祈念申し上げまし 方に、心から敬意と感謝を から道路利用者のためにご | ぐみ、上川陽子、神山佐市、 と思います。 最後になりますが、日頃 皆 助田重義、鈴木俊一、鈴木 |木村太郎、木村弥生、工藤 塩谷立、階猛、新谷正義、 木内均、北川知克、木原稔 亀岡偉民、河井克行、河野 子、佐々木紀、佐々木隆博 正美、菅家一郎、神田憲次

谷 紹 介

山政司、吉田博美 道路局次長、五十嵐崇博道 森昌文道路局長、青木由行 (国土交通省) 、ムー、

> 福井県・岡田高大 長野県・依田明善

【新選出監事】

長野県・向山公人

【新指名常任理事】

長野県・向山公人

近畿地区(福井県)・岡田

【新承認副会長】

【新選出理事】

役 員 の

部

改選

長、増田博行企画課長、川 幹夫高速道路課長 地春海環境安全課長、吉岡 﨑茂信国道・防災課長、菊 上野純一道路交通管理課 務課長、平田研路政課長、 路局官房審議官、中原純総

施と

強化

近畿地区(和歌山県)・小 | 兵庫県・福永征秀

〈敬称略〉

高司、奥野信亮、小沢鋭仁、 藤拓、遠藤利明、大串博志、 宗一郎、今津寛、岩屋毅、 大口善德、大島理森、大塚 加藤寬治、金子恵美、金子 鬼木誠、小渕優子、勝沼栄 孝、石川昭政、石田真敏、 秋元司、麻生太郎、池田道 明、勝俣孝明、加藤勝信、 江﨑鐵麿、衛藤征士郎、江 井上信治、井上貴博、今枝 石破茂、石原伸晃、伊藤渉 智樹本州四国連絡高速道路 【国会議員・代理】 一西日本高速道路(株)経 (株) 取締役常務執行役員 (株) 経営計画室長 敬悟、松浪健太、松本純、 福井照、福島伸享、福山守、 野田毅、初鹿明博、濱地雅 敬、中川郁子、長崎幸太郎、 寺田稔、とかしきなおみ、 郎、土屋正忠、土屋品子、 とむ、田畑裕明、玉木雄一 田中英之、棚橋泰文、谷川 高市早苗、髙木毅、高橋ひ 藤原崇、古川康、古川禎久、 幸、額賀福志郎、野田聖子、 中谷元、中谷真一、中根一 **冨岡勉、豊田真由子、長尾** 堀内韶子、牧原秀樹、枡屋 なこ、竹内譲、武村展英、 、濱村進、比嘉奈津美、 充実 実明消、

牧島かれん、松原仁、三ッ

《衆議院議員》

細田博之、堀井学、前川恵、

林裕巳、望月義夫、茂木敏

充、盛山正仁、保岡興治、

尾英一郎 会議員

馬、宮下一郎、武藤容治、 川信英、宮川典子、宮路拓 松本剛明、松本洋平、御法 渡辺猛之 太、吉川ゆうみ、若林健太、 下雄平、山田修路、山本一 こ、森屋宏、山崎正昭、山 彦、丸川珠代、三木亨、溝 武志、牧野たかお、増子輝 福岡資麿、舞立昇治、前田 太郎、長谷川岳、林芳正、 中西祐介、長峯誠、野上浩 リ、豊田俊郎、中川雅治、 田中茂、塚田一郎、徳永工 求、武見敬三、伊達忠一、 関口昌一、高橋克法、滝沢 磯﨑仁彦、大家敏志、岡田 アントニオ猪木、石井正弘 手顕正、宮沢洋一、森まさ 直樹、北村経夫、島田三郎、 《参議院議員》

森山裕、八木哲也、山口俊 敏英、村上誠一郎、森英介、 山田賢司、山田美樹、山本 宗清皇一、村井英樹、村岡 、山口泰明、山下貴司、 小池百合子、前原誠司、松 也、尾身朝子、門山宏哲、 漆原良夫、大島敦、小川淳 【祝電】 《衆議院議員》

義家弘介、吉川貴盛、笠浩

公一、山本幸三、山本有二、

本純

(敬称略)